

令和6年度

事業報告書

学校法人 宝仙学園

令和6年度事業報告書

1. 令和6年度の事業概要

令和6年度は中期経営計画（令和5年度～令和7年度）の2年目となる中間の年であり、計画に掲げた経営目標の達成を大きく左右する年であったと言えます。社会情勢に目を向けますと、ベースアップや人手不足による人件費の高騰、エネルギー資源価格の上昇や円安による輸入コストの増大による物価高と言った経済情勢の変化や、猛暑や豪雨といった異常気象の常態化など、私たちを取り巻く環境は日々厳しさを増しています。こうした変化の波を乗り越え、教育機関としての使命を果たし、さらに学園を発展させていくためには、変化に対応できる体力を養い、学園が一体となって中期経営計画の達成に向けて取り組むことが肝要です。

はじめに、令和6年度事業計画の重点目標である「財務基盤の強化」と「環境変化への対応」への取り組みを振り返り、達成状況を確認します。学園の基礎体力とも言える財務基盤の強化は、来たる創立100周年記念事業の柱となる新校舎建設の資金需要に応えるとともに、学園の永続的な発展に欠かすことのできない命題です。財務基盤の強化の根幹は学則定員の安定的充足であり、各部門はそれぞれの入口戦略に基づいた独自の学生生徒募集活動を展開してきました。大学と幼稚園は少子化の影響を大きく受け、入学（園）定員の充足に至りませんでした。令和6年度の学園全体の園児・児童・生徒・学生数の合計は2,501名、学則定員充足率は110%となりました。学生生徒納付金等の安定的な収入によって、経営成績の指標となる基本金組入前事業活動収支差額は3億4千万円を計上し、収支差額比率は11.2%となりました。中期経営計画の目標数字は達成することができましたが、前年と比較すると収支差額は5千3百万円の減収、収支差額比率は1.6%の減少となりました。人件費の高騰及び物価高による経費の増大が主な要因と言えますが、これは一過性のもではなく今後もこの傾向は続くものと捉え、こうした社会環境の変化にも迅速かつ的確に対応していく必要があります。授業料等の適正化をはじめ、各種補助金の申請、寄付金募集等、収入の拡大につながる取り組みを推進するとともに、一方では経費削減に向けた取り組みを着実に実施してまいります。

学園を取り巻く環境の変化はますます広範囲にわたり、学校法人は社会から大きな変革を求められています。私立学校法の改正は、こうした要請に応え得るガバナンス改革を推進するための制度改正です。学園は改正私学法の令和7年4月1日施行を見据え、寄附行為の大幅な改正及び内部統制システムの整備、これらに準拠した法人組織づくりに取り組んでまいりました。改正寄附行為は文部科学省より令和6年11月18日付で認可され、これに伴う内部統制システムを令和6年度内に整備し、新年度より改正私学法、改正寄附行為及び諸規則に適合した組織運営をスタートできる体制を整えました。

次に、教学上の戦略の目標である「教育特色の進化と新たな特色創造」についての取り組みです。小学校と中学・高等学校及び大学が共有する新校舎（仮称：連携棟）の建設コンセプトを、より明確に具現化する動きが見えてまいりました。コンセプトの一つである「部門間連携の進化」を踏まえ、小学校と中学・高等学校の管理職定例会議の実施、小中高連携カリキュラム（探求・英語・医進）の開発など、意欲的かつ建設的な意見交換や提案がなされています。また、グローバル教育に向けた取り組みとして、大学ではオーストラリア保育留学制度の定着、中高では海外留学制度の多角化、小学校の海外短期留学制度の導入等、多くの進化が見られました。

最後に「人材戦略」の取り組みです。教育機関の最も重要な資源は人材であり、学園はIT・デジタル人材の育成、中間管理職のマネジメント力の向上、コンプライアンス遵守を3つの柱として取り組みました。各部門においても「人材戦略」を目標に据えて施策を展開し、優秀な人材の採用、教員研修の充実、教育研究活動の推進、ベテラン教員による若手教員の育成等に取り組みました。また、教職員の意識向上を目的とした、ハラスメント防止、情報漏洩の防止に関するオンライン研修を実施し、コンプライアンスの遵守、ITセキュリティの強化を図っています。

令和4年度に導入した成果主義に基づく新人事評価制度は3年目となり、当制度の趣旨の理解が進み、定着化してきました。一人ひとりが仕事に充実感を持ち、明るく働き甲斐のある職場環境の整備・維持に引き続き努めてまいります。

学園創立100周年記念事業となる新校舎の建設が、いよいよ令和7年度に着工します。令和6年度は学園長期ビジョンである「感応の心を大切に、共に学び、高め合う、理想の学び舎の創造」実現に向けて、ハード面及びソフト面でも、一歩前進した一年でありました。

以下、部門別に見た令和6年度の事業概要を記します。

こども教育宝仙大学は、大学としてのMission、Vision、Valueを策定し、Visionとして「実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる」「一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる」「90年の信頼『保育の宝仙』を受け継ぎ、優れた保育者を育てる」を定めています。これらを具体化して推進するため、「こども教育HOSEN WAY」プロジェクトを企画し全教職員で取り組んでいます。令和6年度は第3期「こども教育HOSEN WAYⅢ」（令和6年度～令和8年度）をスタートさせ、21プロジェクトに取り組みました。引き続き大学改革と内部質保証に向けた取組として推進します。

教学面では「存在感あふれる保育単科大学を作り上げる」を目標に掲げ、2025年度入学生から、3コース制を導入し、「児童厚生一級指導員」資格等も取得できるようカリキュラムを改定しました。保育留学第2期生は、7名全員がオーストラリア保育者資格 CertificateⅢを取得して帰国し、その中からオーストラリアの保育所への就職者が初めて誕生しました。

本年度末卒業生の免許・資格取得率は、幼稚園教諭一種免許状 84.0%、保育士資格 93.0%、免許・資格両方取得者 83.0%（目標 80%）となりました。保育に関する課題を学外の方も含め議論する「HOSEN 保育フォーラム」、実習園の実務担当者を主体とした「実習担当者会」を開催し、幼稚園、保育所等との産学連携、関係強化に取り組みました。本年度は新たに「保育を語ろう！実習報告会・施設説明会」を開催し、幼稚園・保育園などを招いて、4年生の教育実習報告会と就職説明会を同時に行い、就職に向けたマッチングともなりました。

年度末卒業者数 100 名に対し、就職・進学者 92 名、就職内定率 92.0%（目標 90%）、そのうち保育職就職者比率は 92.3%（目標 90%）と保育者養成校として一定の役割を果たせました。また公務員就職者は 22 名と過去最多となり、公務員就職率は 22.0%（目標 20%）となりました。

学生募集では、厳しさを増す募集環境の中、全教職員で学生募集に注力しました。大学全入時代となり小規模校を中心に6割弱の大学が定員割れする中、18歳人口の減少、保育離れなどもあり、新入学者 88 名と、入学定員の充足に至りませんでした。

学園内の取組では、宝仙学園幼稚園との幼大連携（体験学習、教育実習、ぷちとまとの連携運営など）、宝仙学園高等学校女子部こども教育コースとの高大接続（出張授業、大学ゼミナール体験など）を図り、100年ブランド「保育の宝仙」の確立に取り組みました。

社会貢献・地域連携の推進では、こども教育研究センターが中心となり、地域子育て支援室「ぷちとま」 「HOSEN こどもフェスティバル 2024」、「中野区とこども教育宝仙大学との相互協力に関する基本

協定」に基づいた「保護者支援プログラム」開催、中野区保育実務研修への講師派遣等の活動を継続しました。なお「ぷちとまと」は令和6年度から幼大連携で通年開催し、年間38日、利用者数も、保護者、こども共に400名を上回りました。

中学校・高等学校共学部「理数インター」は、今年度で13回目の卒業生を送り出しました。共学部は「自己ベストの更新」のスローガンのもと、教員の支援を受け、大きな成果をあげたと思います。特に今年度は、3年連続の現役東大合格生を含め、早慶を始めとする私立最上位校の合格者数は4割程度、早稲田については過去最高の合格数となりました。GMARCHに至っては過去最多の7割を超える合格者数を出しました。

女子部「こども教育コース」は、学園の伝統文化である保育文化を担っています。生徒数は83名ですが、ダンス部は全校大会の常連校で、イギリスで行われる世界大会の3部門での優勝を獲得しました。今後もそれぞれのよさを生かしつつ、本校独自の個性を発展させていきたいと考えています。

また、令和6年度新入生は、中学校244名、高等学校276名となり、中高で1,471名に達しました。令和7年度新入生は、中学校182名、高等学校246名となり、中高で1,397名になります。

小学校は、令和6年度はすべての活動が通常の活動に戻り、「継承と改革」のもと、新しい目標を立てながら、教育活動に取り組んできました。「魅力ある学校づくり」を進め、行事や集会活動も児童が主役となる活動を意識して取り組んでいます。子どもたちの笑顔も広がり、保護者からの支持と信頼を高めることができました。また、新たな特色として、探究学習や英語活動なども、本校の教育活動の柱として、定着をしてきています。

建学の精神「品格と知性を兼ね備えた人を造る」のもと、豊かな人間性と確かな学力を育むことを目標に据え、教育活動に取り組んでいます。また、学力の育成では、よりよい授業を目指して、授業力の向上と改善を図り、研修・研究活動を充実させ、資質の向上につながっています。研究活動が学校の評価を高めていると捉えています。

入口戦略・出口戦略とも概ね良好な結果でした。入口では、さらに第一希望者を増やし安定しています。一般受験の受験者は前年度減りましたが、かなり回復することができました。引き続き状況を見極め、広報活動の見直し等を行っていきます。出口では、全体的に好成績でしたが、第一・二希望校に進学する生徒が85%に達し、個々の希望する進路を実現することができました。

宝仙学園の100周年に向けて、幼小中高大の連携をさらに強めていくことが求められています。昨年度は、管理職や教員の交流などを中心に、幼稚園や中高との連携を着実に進めてきました。

幼稚園では、「遊びの中の学び」に重点を置き、人として「感応の心」を育てることの重要性を、教員が保育の場で常に意識し、園生活の中で様々な体験・経験を通し、各学年での子どもの育ちを生み出していきました。一人ひとりの育ちを把握、確認するとともに、進級するたびに子ども一人ひとりの今までの育ちを生かす保育を心掛け、展開することも十分に意識しながら、教員間の連携も深めていきました。

進学（受験）に強い幼稚園として幼児教室（理英会）と連携し、園生活を送る中での体験・経験が子どもにとって重要であり、日々の保育の大切さを考えながら指導の充実を図り、保護者の満足度を上げる努力をしました。

保護者には、「教育計画」を配布し、教育懇談会や個人面談の随時実施等、本園の教育の理解を深めていただくための努力をしました。また、家庭教育も重要であることから、園児指導と共に保護者支援に

も力を注ぎました。

園行事など保護者のニーズに応えていくことから、保護者の信頼を獲得することができました。

公開行事、説明会等「良質な教育」をアピールすると共に、昨年度から、コンサルタント会社（GCLIP）からのアドバイスを受けながら園児募集強化の対策を講じており、今年度も同様に行いました。

2. 学校法人の概要

（1）建学の精神

創立者の目指した教育は「人を造る」教育です。そして「宗教的信念を根底においた人格教育の達成」を目標に定めました。人智を超える大いなる存在を感得することにより心豊かな人格を育み、生きる意欲を高め、豊かな人生を歩む。創立者が目指した教育は、学園に集うすべての人が、人間の本質を見つめ、そこから人間としての生き方を学ぼうという教育であります。

（2）学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月	感応幼稚園設置認可
昭和 3年 1月	中野高等女学校設立認可
昭和 10年 3月	仏教保育協会保姆養成所設置認可
昭和 14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和 19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和 21年 11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和 22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和 23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和 23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和 26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和 26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和 27年 11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和 29年 10月	感応幼稚園を宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 29年 10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和 29年 10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和 39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成 10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可(学位授与機構認定)
平成 19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成 20年 10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成 21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学
平成 21年 4月	宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止
平成 22年 4月	宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (令和6年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科
宝仙学園高等学校	昭和 3年4月	全日制 (普通科)
宝仙学園中学校	昭和22年4月	
宝仙学園小学校	昭和28年4月	
宝仙学園幼稚園	昭和 2年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (令和6年5月1日現在)

学 校 名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 R7.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	373	349
宝仙学園高等学校	245	735	767	738
宝仙学園中学校	135	405	702	658
宝仙学園小学校	70	420	454	450
宝仙学園幼稚園	—	315	205	183

(5) 役員の概要 (令和6年5月1日現在)

区 分	定 員 数	現 員 数	常勤・非常勤
理 事	7～10人	10人	常 勤－8人 非常勤－2人
監 事	2人	2人	非常勤－2人

(6) 評議員の概要 (令和6年5月1日現在)

区 分	定 員 数	現 員 数	常勤・非常勤
評議員	19～28人	21	常 勤－12人 非常勤－ 9人

(7) 教職員の概要 (令和6年5月1日現在)

区 分		大 学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本 部	合 計
教 員	本務	1 9	4 4	4 6	2 6	1 6	0	1 5 1
	兼務	1 7	2 7	2 0	0	4	0	6 8
職 員	本務	1 7	8	3	2	4	5	3 9
	兼務	5	5	4	2	4	1	2 1

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。
会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・令和6年度開催回数8回

＜主な議案＞

- ・役員、評議員の改選
- ・令和5年度事業報告
- ・令和5年度収支決算
- ・令和6年度収支補正予算
- ・令和6年度事業計画
- ・令和6年度寄付金品の募集
- ・令和7年度寄付金品の募集
- ・令和7年度経営計画・収支予算計画
- ・令和7年度長期借入金借用（予定）について
- ・学園規則類の制定・改廃
- ・宝仙学園寄附行為の改正
- ・学内理事報酬の改定について

(2) 評議員会開催の状況・・・令和6年度開催回数6回

＜主な議案＞

- ・役員、評議員の改選
- ・令和5年度事業報告
- ・令和5年度収支決算
- ・令和6年度収支補正予算
- ・令和6年度寄付金品の募集
- ・令和7年度寄付金品の募集
- ・令和6年度事業計画
- ・令和7年度経営計画・収支予算計画
- ・令和7年度長期借入金借用（予定）について
- ・宝仙学園寄附行為の改正
- ・宝仙学園役員の報酬等の支給基準の改正
- ・宝仙学園評議員の報酬等の支給基準の制定
- ・学内理事報酬の改定について

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会8回、評議員会6回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回、監査方針打合せ会1回）

(4) 法定監査の状況・・・令和6年度実施回数16回

- ・監査法人による会計監査の実施

(5) 令和6年度の主な教育活動

<大 学>

- ・2024年度入学式 (R6. 4/2)
- ・宝仙学園幼稚園での体験学習 (R6. 6/24・25、11/21・22・25)
- ・教育実習 (実習期間 R6. 5/20～7/5)
- ・保育実習Ⅰ(施設) (実習期間 R6. 6/24～7/9、7/29～9/15)
- ・地域文化体験 (利賀村研修) (R6. 9/10～14)
- ・「南砺市利賀村と宝仙学園の教育交流50周年式典」開催 (R6. 9/12)
- ・HOSEN こどもフェスティバル 2024 (宝仙祭と共催) (R6. 10/19・20)
- ・保育実習Ⅱ・Ⅲ(保育所・施設) (実習期間 R6. 11/11～12/21)
- ・大学入学共通テスト 東京女子大学と共同実施 (R7. 1/18・19)
- ・保育実習Ⅰ(保育所) (実習期間 R7. 1/30～3/3)
- ・オーストラリア保育留学 (R7. 2/8～R7. 12)
- ・国外保育体験 (オーストラリア短期留学) (R7. 2/8～2/22)
- ・卒業研究発表会 (R7. 3/6)
- ・第13回学位記授与式挙行 (R7. 3/19)
- ・子育て広場「ふちとまと」開催 (幼大連携で年38日開催、大学担当15日、幼稚園担当23日)
- ・中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催 (R6. 6/4、9/3、R7. 2/14)
- ・「HOSEN 保育フォーラム」開催 (R6. 7/20、11/30)
- ・「保育を語ろう！実習報告会・施設説明会」開催 (R6. 8/3)
- ・女子部こども教育コース高大接続 (出張授業10回、8/28大学ゼミナール体験等を実施)
- ・「実習担当者会」開催 (R7. 3/1)

<中学校・高等学校>

(共学部)

- ・入学式 (R6.4/5)
- ・高3 春合宿／埼玉県熊谷市 (R6.4/8～11)
- ・共学部高校体育祭／武蔵野の森体育館スポーツプラザ(R6.4/25)
- ・高2 オーストラリア研修旅行(R6.6/5～11, 6/6～12)
- ・高1 関西研修旅行 (長谷寺研修・墓参) (R6.6/7～9)
- ・中学校体育祭／武蔵野の森体育館スポーツプラザ(R6.6/11)
- ・中学芸術鑑賞会(R6.6/12)
- ・中1 林間学校／水上高原(R6.7/24～26)
- ・マルタ語学研修(R6.7/19～8/3)
- ・高校夏期講習Ⅰ期(R6.7/22～25)
- ・カナダ語学研修(R6.7/28～8/10)
- ・英国イングランド研修(R6.8/3～8/17)
- ・高校夏期講習Ⅱ期(R6.8/20～24)
- ・中学夏期講習(R6.8/26,28,29)
- ・高1・2 芸術鑑賞会 / 東京建物 Brillia HALL(R6.9/2)
- ・中学グローバル・AL コース英語プレゼンテーションコンテスト(R6.9/11)

- ・宝仙祭（中・高）(R6.10/21,22)
- ・中２長崎研修旅行(R6.11/1～3)
- ・中３アジア研修旅行(R6.11/9～13)
- ・中１十三詣り(R6.11/9)
- ・中１ネイチャープログラム／江の島・鎌倉(R6.11/22)
- ・中学冬期講習(R6.12/23～25)
- ・高校冬期講習(R6.12/23～26)
- ・中学合唱祭／中野ゼロホール(R7.1/15)
- ・中３卒業プレゼンテーション(R7.1/25)
- ・高校英語プレゼンテーション(R7.1/25)
- ・中２職場体験(R7.2/1,2,4,10,12)
- ・中学英語プレゼンテーションコンテスト(R7.2/15)
- ・高校卒業証書授与式(R7.3/14)
- ・高校１年探究発表(R7.3/15)
- ・中学校卒業証書授与式(R7.3/21)
- (女子部)
- ・入学式（対面）(R6.4/5)
- ・女子部 Welcome Camp / 高尾 (R6.4/18～20)
- ・体育祭 (R6.5/25)
- ・高Ⅰ宝仙学園幼稚園見学実習/奥寺先生事前指導 (R6.5/28)
- ・高Ⅰ幼稚園実習 (R6.6/1)
- ・高Ⅱ幼稚園実習 (R6.6/4)
- ・合格祈願 (R6.6/3)
- ・高Ⅲ幼稚園実習 (R6.6/6)
- ・高Ⅱ幼稚園実習 (R6.6/11)
- ・北海道研修旅行 (R6.6/15-20)
- ・夏期講習Ⅰ期 (R6.7/22-25)
- ・大学ゼミ体験（夏期講習Ⅱ期）(R6.8/26)
- ・夏期講習Ⅱ期 (R6.8/2)
- ・高Ⅲ保育園実習 (R6.9/18)
- ・高Ⅱ保育園実習 (R6.11/6)
- ・宝仙祭 (R6.10/19, 20)
- ・Hosen Art Festival VOL.4 (R6.11/15)
- ・芸術鑑賞会 (R7.1/16)
- ・高Ⅲ卒業プレゼン (R7.1/25)
- ・音楽祭/Ⅲ年生を送る会 (R7.2/28)
- ・卒業証書授与式＜中学校・高等学校＞ (R7.3/3)

<小学校>

<学習活動等>

- ・本校の新たな特色ある教育活動の柱として、「探究学習」や「英語学習」に重点的に取組ん

できました。

- ・宝仙小の新しい教育方針「自ら学び チャレンジと共創から未来をつむぐ」を中心に据え、教育活動の活性化を図っています。
- ・学校・仏教行事、宿泊行事等、その他の諸活動も継承するだけでなく、内容を見直し、さらに子どもが主体的に関われるように内容を充実させてきました。「月の生活目標と十の戒」の検討を行っています。
- ・「みつける きめる つむぐ 自他の意志を尊重する子どもたちの育成」を研究テーマに、公開授業研究発表会を2回実施しました。
- ・外部の人材を活用し、「宝仙ミライ学びフェスタ」を初めて実施することができました。
- ・児童の個別支援教育に対して、講師と共に巡回相談を定着させ、子どもたちへの理解を深め、生徒指導に活かしました。
- ・ICT教育推進の取組みは、教育活動の柱の一つとして定着し、さらに推進をしています。児童や保護者対象に、情報モラルや情報リテラシーについて学ぶ場を設定しました。
- ・外部業者とも連携し、広報担当、入学対策担当のホームページ・スクールガイド等を含めた広報活動の見直しを行った。取捨選択し、改善しながら新たな取組みを実施しました。
- ・英語学習では、英検Jrを2年生まで導入するとともに、年間2回（9・1月）に、英検の準会場として試験を実施し、英検への意識を高めました。
- ・卒業時に目指すべき児童の姿を示す「ディプロマポリシー」を具現化する、資質・能力を「コンピテンシー10」として明確にし、教育活動の柱として取り組みました。
- ・課外クラブを実施した。サッカー、音楽、演劇、プロジェクションマッピング、朝ラン、剣道クラブが活動しました。対外試合や発表会に参加するクラブもあり、活躍の場を広げました。

<行事について>

- ・各学年で進級遠足、体験的校外学習、社会科見学等は、各学年3回実施（4月から3月までの期間）
- ・各学年別に保護者懇談会と授業参観の実施（4月・6月・10月・2月）
- ・6年生修学旅行は、2泊3日で長崎方面、研修学習を実施（R6.6/20～22）
- ・5年千葉県鴨川夏季学校、3・4年白樺湖夏季学校、2年西湖夏季学校をそれぞれ2泊3日で実施（R6.7/18～27）
- ・韓国ホームステイ・イングリッシュキャンプ（13名参加）（R6.7/28～8/2）
- ・第一回「宝仙ミライ学びフェスタ」の実施（R6.8/26）
- ・プロジェクションマッピング実施（R6.8/28）
- ・運動会（武蔵野の森スポーツセンター）（R6.9/24）
- ・宝仙祭、2日間、子どもの発表会と作品展を全校規模で実施（R6.10/19・20）
- ・ロイロ公開授業研究会開催（R6.11/29）
- ・けん玉大会（R6.12/16）
- ・「宝仙小公開授業研究会」開催、入学希望者も参観（R7.2/21）
- ・6年生を送る会（全校で）（R7.2/28）
卒業研究発表会は、保護者も見学し、5年生も参加して実施
- ・6年卒業遠足（東京ディズニーランド）（R7.3/5）

- ・卒業式・謝恩会 (R7.3/13)
- ・奥志賀高原スキー教室 (65 名参加) (R7.3/19～22)
- (その他)
- ・父母会総会 (R6.4/30)・光葉会総会 (R6.6/9)
- ・宝友会総会・懇親会 (R6.7/6) ・光葉会出店 (宝仙祭 R6.10/19・20)

<幼稚園>

- ・戸外遊びの充実／年齢に応じた戸外あそびの工夫
- ・英語教育／全学年ともに原則週 1 回
- ・リトミック活動／全学年ともに原則月 1 回
- ・本学園小学校との連携教育活動／理科実験教室 (年長児 3 回)
- ・園内研修の充実／年間テーマ「見えていないものを観る力、感じ取る力、表現する力」
Bunkmura 主催の「鈴木康広展 ただ今、発見しています」展の鑑賞を主軸にこども教育
宝仙大学捧教授と共に園内研修の一環として探求型・芸術体感プログラムを実施
- ・管外園内宿泊研修 (千葉)「見えていないものを観る力、感じ取る力、表現する力」を学ぶ
水族館、牧場などの生き物や環境・風景から様々な「観る」を探る (R6.5/17～18)
- ・「せんをはっけんする、せんであそぶ」講師 捧教授 (R6.6/11)
- ・『鈴木康広展 ただ今、発見しています』講師 捧教授
鑑賞及び鑑賞後ワークショップ (R6.8/1)
- ・振り返り・グループディスカッション 講師 捧教授 (R6.8/28)
- ・研究保育 年間 1 回：「研究保育・制作指導」年少担任 佐藤李帆
- ・仏教行事／花まつり (4・5 歳児)、両大師祭、みたままつり、地藏祭 (7 回)
おつとめ(年 8 回)
- ・宝仙祭／(R6.10/1・20) 在園児の活動及び母の会を含めた活動
- ・避難訓練、防犯訓練の実施 (年間 4 回)、AED 講習会開催 (R6.7/22)
- ・公開保育・体験フェア・入園説明会／2・3 年保育と満 3 歳関係と実施時期を分け行う
- ・進学講演会開催／進学講演会Ⅱ「2024 進学報告会」理英会 (R7.2/7)
- ・母の会主催講演会／「笑顔のもとには笑顔が集まる」講師：落語家 林家たい平師匠
(R7.1/28)
- ・「楽しい子ども会」実施／園児表現活動の保護者参観 (R7.2/18～21)
3・4・5 歳児 3 クラス合同、満 3 歳児は 1 クラス
- ・中央線沿線私立小学校合同説明会／資料のみ配布

<全学園>

- ・創立者忌日法要 (R6. 6/28)
参列者：各部門の役職者 (管理職以上)・代表生徒、学生
園児・児童・生徒・学生はオンラインで視聴
- ・長谷寺仏教研修：(R6. 7/29～31)
- ・合同学園祭「宝仙祭」の開催：大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園 (R6. 10/19～20)
各部門共同開催 合同テーマ「飛躍」
大学 学内展示、音楽劇、ワークショップ

中学・高等学校共学部	演劇、作品上映、学内展示
高等学校女子部	ミュージカル、ダンス部、バトン部、合唱隊
小学校	「子どもの発表会、児童作品展、Enjoyほうせん」 児童作品展示、ワークショップ
幼稚園	「宝仙祭 ～こどもの作品展～」 子どもの作品展示、母の会バザー、コーラスママ

(6) 令和6年度の主な事業活動

<学園の活動>

①学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項

- ・宝仙学園給与規定手当支給基準表の改正 (R6. 4/1施行)
- ・宝仙学園無期労働契約転換職員の定年等に関する規定の改正 (R6. 4/1施行)
- ・宝仙学園稟議規則の改正 (R6. 4/1施行)
- ・興教大師850年御遠忌宝仙寺寄贈宝仙学園職員研修基金規定の改正 (R6. 4/1施行)
- ・宝仙学園資金運用規程の改正 (R6. 5/27施行)
- ・宝仙学園経理規定施行細則の改正 (R6. 4/1施行)
- ・宝仙学園高等学校特待生授業料減免に関する規定の実施要領の改正 (R6/6/1施行)
- ・宝仙学園西軽井沢寮管理運営規定 (R6/7/23廃止)
- ・宝仙学園スキャナによる電子化保存規程の改正 (R6/8/1施行)
- ・宝仙学園スキャナによる電子化保存規程に関する事務処理細則の改正 (R6/8/1施行)
- ・宝仙学園中学校学則の改正 (R7/4/1施行) ※学納金関係
- ・宝仙学園高等学校学則の改正 (R7/4/1施行) ※学納金関係
- ・宝仙学園非常勤教員就業規則の改正 (R6/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学学則の改正 (R7/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程の改正 (R7/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学保育士養成課程履修規程の改正 (R7/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学児童厚生員養成課程履修規程の改正 (R7/4/1施行)
- ・学校法人宝仙学園寄附行為の改正 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園高等学校学則 (R7/4/1施行) ※カリキュラム関係
- ・宝仙学園就業規則の改正 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園非常勤教員就業規則の改正 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園非常勤職員・アルバイト就業規則の改正 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園育児・介護休業等に関する規定の改正 (R7/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程の改正 (R7/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学保育士養成課程履修規程の改正 (R7/4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学教職課程履修規程の改正 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園内部統制システム整備の基本方針の制定 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園理事選任機関運営規程の制定 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園理事会運営規則の改正 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園評議員会運営規則の制定 (R7/4/1施行)
- ・宝仙学園役員報酬等の支給基準の改正 (R7/4/1施行)

- ・宝仙学園評議員報酬の支給基準の制定（R7/4/1施行）
- ・宝仙学園コンプライアンス推進規程の制定（R7/4/1施行）
- ・宝仙学園リスク管理規程の改正（R7/4/1施行）
- ・宝仙学園文書取扱規則の改正（R7/4/1施行）
- ・宝仙学園監事監査規程の改正（R7/4/1施行）
- ・宝仙学園公益通報者保護規程の改正（R7/4/1施行）
- ・宝仙学園火曜会会議規程の廃止（R7/4/1施行）

②教育環境整備の推進状況

・大 学	電子ピアノ取替更新	1,610,000 円
	音楽演習室会議テーブル 4 台	237,600 円
	教員 PC2 台	433,180 円
	教室プロジェクター機器取替更新	619,300 円
・中 高		
	教職員用ノート PC 22 台	4,824,490 円
	中学生用机&椅子 計 150 セット	3,536,500 円
	86 型電子黒板導入 2 台	1,626,068 円
	6C 教室エアコン改修	2,970,000 円
	3 号校舎教室空調改修工事	49,467,000 円
・小学校		
	音楽室椅子購入	616,000 円
	講堂プロジェクター・スクリーン	1,380,500 円
	職員室教員用机・椅子	685,383 円
	理科教育設備整備費等補助金による実験機材等の購入	2,612,500 円
・幼稚園		
	園児（年中）用椅子 115 脚購入	1,909,000 円
	参道舗装工事	3,320,000 円

③学園運営管理施策の推進状況

- ・令和 6 年度監事への経営報告会の実施（年 3 回）
- ・令和 7 年度経営計画の部門別検討会の実施（1 月 24 日～31 日）